

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
<b>I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]</b>								
<b>(1) 理念の明確化</b>								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				・事業所理念揭示	業務運営適切
<b>(2) 適切な人材の育成</b>								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			・事業所会議 ・ケアカンファ	
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			・社内研修実施 ・同市内他区および他県定期巡回4事業所のオペレーションセンターを集約	多くの研修機会を確保し専門技術の向上の取り組みができています オンライン研修を含め、外部の研修機会を増やしてください
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			・24hシフト制 ・同行(指導、育成)	同行時に丁寧に指導してもらえるため安心して訪問できる 同行指導、電話等での相談等、サポートをしっかりしてもらえ 職員の実務年数や能力を考慮し勤務配置を行ってください
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			・クラウドシステム(24h)	システム活用し、相互の理解・認識の共有ができています 細かく記録されているため状況が分かりやすい 担当利用者のケア内容についてのFAX報告が、他利用者のケア内容だったスマケア・担当者会議・電話連絡等で確保されている いつも迅速に連絡をもらえる クラウドシステムによりサービスやご利用者の状況が把握でき助かっている 丁寧な記録をいつもありがとうございます
<b>(3) 適切な組織体制の構築</b>								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			・シフト、ルート調整 ・同行(指導、育成) ・男女限定は不可	休み届けの際に快く対応して貰える シフトの工夫をしている 24時間随時対応が可能なおことにより適切なケアマネジメントが可能となっている
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を随時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている					・新型コロナウイルス蔓延防止のため未開催	

利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている				クラウドシステム(24h)	常に最新の情報が更新されているのでサービスがスムーズに行えるシステムでの情報共有があり、久しぶりの訪問でも安心して訪問できるクラウドシステムを導入しスタッフ間の情報の共有化を図っていてとても良い状況の変化の際は連絡がある 常時は見れなかったが後からでも確認が出来て良かった
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)				緊急連絡網 非常食備蓄 深夜は乗用車移動のみ	電話の応答も迅速で安心できる 職員への安全配慮ができています
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている				鍵付糊保管 書類持ち出し禁止 個人名揭示禁止 ID、PWセキュリティ	個人情報保護が行き届いている
<b>II 過程評価 (Process)</b>							
<b>1 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>							
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>							
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている				アセスメント表 (24hフロー表記欄)	サービスを行うのに大変役に立っている 利用者とその家族の生活リズムを把握し提供している
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている				アセスメント同行 計画書共同作成	介護・看護職員が同行し計画書作成ができています スムーズな共有、サービスが行われている 必要時、利用者の情報提供があり助かっている
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている				ADL回復 介護度の軽度化	利用者の心身機能の維持・回復を踏まえリスク管理を考えた計画を遂行している
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている				廃用性症候群予防 尿路感染症予防 バイタル測定 食事水分摂取量チェック 排泄チェック	重度化予防の取り組みができています 考えられるリスクを把握し対応している
<b>(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し</b>							
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている				入退院時 体調不良時 適所利用中止時 ご家族不在時 サービス拒否時	利用者の状況に合わせたサービス提供ができています 状態の変化時にはケアの追加を行っている 利用者の生活スタイルに合わせて柔軟に対応している 入院当日の朝のサービス提案いただき家族の安心感を得られた 事業所同士の連携が取れており利用者の生活が守られている 家族の希望に応じた対応で柔軟さがありがたい 急なサービス追加にも柔軟に対応してくれるので利用者にとって心強い
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている				クラウドシステム(24h) ケアカンファ 訪問時間、回数調整	状態の変化に早期に気が付いて、都度、サービス対応している 状況の変化が大きいが予測・準備ができています FAXで報告して欲しい
<b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							

介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている				・アセスメントナース ・クラウドシステム(24h)	医療度の高い方などは連絡ノートを使用し看護と連携をとっている 役割分担が行われている
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている				・クラウドシステム(24h) ・看護モニタリングシート	
<b>(4) 利用者等との情報及び意識の共有</b>							
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている				・アセスメント時 ・契約時 ・モニタリング時 ・担当者会議時 ・サービス変更時 ・介護認定更新、変更時 ・ケア訪問時	サービスを行う際スムーズに行える 適宜利用者等へ情報及び意識の共有ができていく きめ細やかに利用者の1日の流れについて、介助について適切に行っている サービス開始の契約の時に契約に来たスタッフのフェイスシールドの汚れが目立ちご家族からのクレームになった
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている				・説明者、署名、捺印欄 ・クラウドシステム(24h)	
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている				・クラウドシステム(24h) ・電話、FAX、メール連絡 ・ノート、ボード等設置	クラウドシステム等活用により実施できている
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>							
<b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>							
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている				・クラウドシステム(24h) ・電話、FAX連絡 ・同行訪問	クラウドシステム、電話、FAXにて報告している。状況が分かりやすくタイムリーに連絡がある 詳細な報告があり利用者の状態が良く分かる 詳細な記録がすばらしい どなたに伝えてもきちんと伝達されていて職員間の連携がありすばらしい
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている				・ケア内容追記のご依頼 ・他サービスのご提案	最新の情報が常にタブレットより見れるのでサービスがスムーズに行える 単位数の加減で自費負担が大きい 現場での状況からケアプランへのケア項目追加の依頼をくれる 地域のフォーマルインフォーマルサービスの活用をしてみてください
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている				・介護職、看護職参加 ・電話、FAX照会 ・クラウドシステム(24h)	担当者会議の際は出席もしくは照会での共有ができていて 連携が取れている
<b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>							
利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)				・担当者会議 ・電話、FAX連絡	必要に応じた他職種連携が実施されている コロナ禍のため照会のみ新規契約時はサービス内容の詳細説明をしている 利用者の意向、家族の意向を確認している
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)				・地域包括の方、ケアマネジャー、行政の担当の方を中心に情報共有 ・退院、退所前カンファ	入退院時の情報共有では細かく擦り合わせてきている

